



# 善前小だより

N o . 9 平成 30 年 1 2 月号

1 2 月 3 日 発行

住 所 南区太田窪 2 5 0 0 番地 1

電 話 882-7871 FAX 811-1329

ホームページ <http://zenmae-e.saitama-city.ed.jp>

「善力前進」ともに伸びよう 善前小 ～はずむ心 きたえる体 学ぼう創ろう「みどりの学園」～

## やり抜く力

校長 小田切 倫子

日に日に寒さが増し、きれいに色付いていた校庭の木々の葉もずいぶんと少なくなってまいりました。たくさん落ち葉が、学校の周りのお宅にお邪魔をしてお迷惑をおかけしていること、本当に申し訳ございません。いよいよ師走。平成30年のカレンダーも最後の1枚となり、学校としても2学期のまとめの時期となりました。

2学期は、運動会や社会科見学、修学旅行など、大きな行事がありました。行事には、日常の授業では得ることができない、貴重な学びがたくさんあります。先月20日に行われた持久走記録会でも、子どもたちの大きな成長を感じました。人によって感じ方に差はありますが、様々な行事の中で、この持久走記録会は、誰もが“苦しい”“辛い”と感じる行事ではないでしょうか。低学年は3分、中学年は5分、高学年は6分走り続けますので、だんだん息が苦しくなってきます。足にも疲労がたまってきます。途中で、止めてしまいたいと思った子どももいることでしょう。もちろん、具合が悪くなったら止める勇気も必要ですが、歯を食いしばり、最後まで懸命に走る子どもたちの姿には、心を打たれました。

“持久走”ですので、運動に係る『持久力』を高めることが大きなねらいです。それとともに、『気力』や『忍耐力』などを高めるためにも、大変意義のある行事だと考えます。苦しい中、最後まで走り抜いたことは、とても価値のあることです。このやり抜く力、“Grit (グリット)”に注目が集まっているということも、どこかで聞いたことがある方も多いでしょう。アメリカの研究で、物事を成功させた人の共通点は、“才能”や“IQ”ではなく、やり抜く力“Grit (グリット)”であったというものです。また、さいたま市教育委員会が子どもたちの未来のために掲げている「3つのG」(“Grit [グリット] やり抜く力” “Global [グローバル] 国際社会での活躍” “Growth [グロース] 一人ひとりの成長”) の中の一つでもあります。走り終わった子どもたちは、皆やり抜いたという達成感を味わい、とてもいい表情をしていました。また、もう一つ感動したことがあります。それは、応援する声です。「がんばって!」「もう一息!」苦しい友達を、力いっぱいの声援で一生懸命支えてくれていました。空気がひんやりとするちょっと寒い日でしたが、校庭は、子どもたちの熱いエネルギーで満ち溢れていました。

末筆になりましたが、先月17日の第39回PTA「みどりの会」バザーが、皆様のご協力のもと盛大に開催されましたことに、心より感謝申し上げます。品物の提供やゲーム・お店の企画や発注、作成の作業、学校の周りの落ち葉清掃など、事前の準備からとても丁寧にしてくださいました。そして迎えた当日は、かわいらしいコスチュームを身に付けた金管バンドクラブの子どもたちによる素晴らしい演奏が、オープニングを盛り上げてくれました。また、どの会場も子どもたちの元気な声や明るい笑顔がいっぱいで、子ども、保護者、地域の方々との心温まる触れ合いがある、すてきなひと時となりました。本当に、ありがとうございました。

「平成」最後の年の暮れとなります。皆様がお健やかに新年をお迎えになりますよう、お祈り申し上げます。